

みやぎ復興プレス

「みやぎ復興プレス」では、東日本大震災により被災された方をはじめとした復興に関わる多くの方々に、宮城の復興状況やイベント、被災者支援など、復興に関する主な情報をお届けします。メールマガジンやWebサイトとも連動し、多くの皆さまのお手元に情報をお届けしますので、よろしくお願いいたします。

目次

- p1 トピックス：宮城県地方創生総合戦略～復興を未来につなぐ道標～
- p2 トピックス（1面の続き）、応援職員紹介
- p3 月刊ココロプレス
- p4 県からのお知らせ、復興イベント情報



メールマガジンによる配信も行っています！ 配信を希望される方は、1お名前、2お住まいの都道府県、3ご所属（個人の方の場合は不要）をメール本文に記載して fukusuim@pref.miyagi.jp まで送信願います！



宮城県地方創生総合戦略 ～復興を未来につなぐ道標～

今、日本が直面している人口急減・超高齢化という課題に対し、各地域がそれぞれの特徴を活かし、持続的な社会を目指す「地方創生」の取り組みが全国で進められています。

県では、この「地方創生」を、東日本大震災からの「創造的復興」と震災前から県政運営の理念としている「富県共創！活力とやすらぎの邦（くに）づくり」の実現を加速し、その効果を最大化するための推進力（エンジン）と位置づけ、取り組みを進めていくこととしています。

宮城県地方創生総合戦略の概要

◆宮城県の人口推移及び将来推計

県の推計人口は、震災後、復興関連従事者の増加で一時的に増加しましたが、全体の傾向としては、2003年の237万人をピークに減少しています。さらに、国立社会保障・人口問題研究所の推計に準拠して試算した場合、2060年の県人口は2010年と比べて74万人減少（32%減）し、157万人になると見込まれています。

◆宮城県地方創生総合戦略

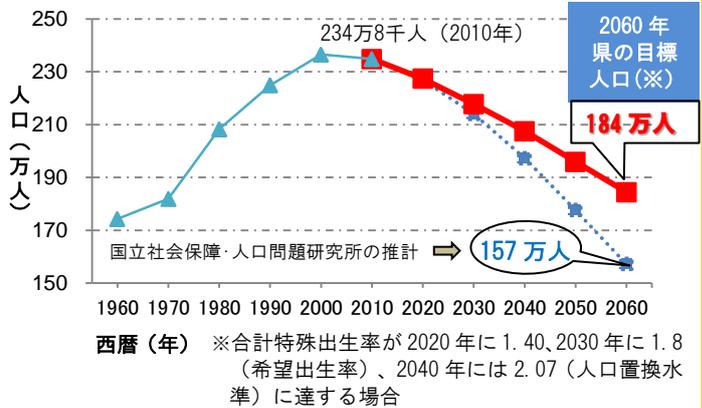
人口が急速に減少すると、産業・雇用、地域生活、医療・福祉などへの影響が長期的かつ幅広い範囲に及ぶと想定されます。

少子高齢化が進行する現状において、人口が減少していくことは避けられない状況ですが、県では、こうした影響を最小限に留めるため、2060年の県の目標人口を2010年と比べ20%減の184万人としました。

この目標を達成するためには、子どもを生き育てやすい環境をつくり、雇用を創出し、首都圏からの移住を促すことが重要です。このことから昨年10月に策定した「宮城県地方創生総合戦略」では、右図4つの基本目標に基づいた取り組みを進めていくこととしています。

（2面に続く）

《人口の長期的見通し》



- 基本目標1：安定した雇用を創出する**
 →若者等が県外に転出することなく、希望どおり県内の就業を可能とする。
 ➡ 雇用の場の確保
- 基本目標2：宮城県への移住・定住の流れをつくる**
 →宮城県に関心のある方々の県外からの移住定住が進むよう、情報発信と受入環境の整備を進める。
 ➡ 県外からの移住の推進
- 基本目標3：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる**
 →結婚から子育てまでの切れ目ない支援を進める。
 ➡ 結婚・出産・子育てを総合的に支援
- 基本目標4：時代に合った地域をつくり、安全・安心な暮らしを守る**
 →人口減少社会の中でも、持続可能な地域づくりを進める。
 ➡ 持続可能な地域づくり



宮城県地方創生総合戦略 ～復興を 未来につなぐ 道標～ (1面の続き)

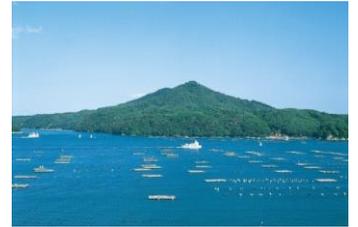
地方創生に向けた取り組み例

地方創生は「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立し、地方への新たな人の流れを生み出すこと、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻すことを目指しています。

「宮城県地方創生総合戦略」では、この中でも「安定した雇用の創出」を重点とし、特に若い世代の経済的安定を支える「質の高い雇用」を数多く創出するための取り組みを進めていきます。

●農林水産業等の成長産業化

宮城県は、全国有数の米どころであるほか、水産業でも全国上位に位置するなど、第一次産業が基幹産業となっています。



カキの養殖いかだ

こうした宮城県の強みである農林水産業のさらなる成長産業化を図るため、農林漁業者自らが取り組む食品加工や販売等の6次産業化を通じた新たな事業創出等を支援します。

●交流人口の拡大に向けた観光地域づくり推進

平成28年7月に仙台空港が民営化されます。

これを契機に、東北各県が連携した広域観光を充実させ、航空機利用に



仙台空港

よる外国人や中部以西からの誘客を強化するほか、温泉や食材、自然など宮城独自の魅力を生かした体験・滞在型観光を発掘し、観光による交流人口の拡大に向けた観光地域づくりを推進します。

●新たな創業に対する支援

県内では開業率が全国上位の水準で推移するなど起業に向けた関心が高まりを見せています。

こうした動きをさらに活性化させるため、地域における創業支援体制を強化するほか、商店街の空き店舗等を活用したインキュベーション施設[※]の開設を支援するなど起業しやすい環境整備を進めます。



石巻市の起業家支援拠点 Coworking@Ishinomaki

※起業家や新しいビジネスを支援するための施設

全国の皆さま ご支援ありがとうございます！

応援職員紹介コーナー Vol.42



氏名 山田 宣央(ヤマダ ノリヒサ)
派遣元 栃木県
所属 仙台地方振興事務所農業農村整備部
イチゴとギョウザでおなじみの栃木県から平成27年4月より派遣されています。今年度も引き続き宮城で働きますのでよろしくお願いいたします。

業務は山元町で農地の再整備事業を担当しています。農業の再生により、地域の賑わいが戻ることを願い頑張っております。宮城のスーパーマーケットでも栃木のイチゴを販売していることもありますので、見かけた際は是非、御賞味くださいませ。



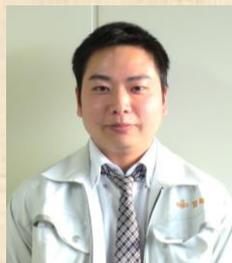
氏名 渡邊 雅之(ワタナベ マサユキ)
派遣元 岐阜県
所属 仙台地方振興事務所農業農村整備部
「清流の国」岐阜県から来ました。現在、名取地区のほ場整備を担当しています。引き渡しまであと一歩の所まで進んできました。地元役員さんや営農者の方

と、たくさんお話しして・・・ようやく方言を理解することが出来ました。最初は何を言っているのか分からず、通訳が必要でしたが(笑)。復興に向けて地元の方と一緒に進めることが大事な時なのかもしれません。僕なりに一生懸命やりたいです。



氏名 林原 龍之介(ハヤシ リュウスケ)
派遣元 鳥取県
所属 仙台塩釜港湾事務所
砂丘とゲゲゲの鬼太郎で有名な鳥取県から派遣されています。宮城県はサンマやカキが有名ですが、鳥取も松葉ガニなど旨いものがあるので、機会があれば

お越してください。今年度で2年目を迎えることになりましたが、こちらでは仙台塩釜港の港湾施設の災害復旧、防潮堤の工事を担当しています。宮城県での生活にも慣れましたので、引き続き復興支援できるように頑張りたいと思います。



氏名 風無 雄介(カゼナ ユウスケ)
派遣元 石川県
所属 用地課・収用委員会事務局
石川県から派遣され、今年度は2年目に突入します。用地課では収用委員会業務を担当しています。石川県は全国トップクラスで雨の日が多いのに対し、宮

城県は晴れの日が多く、一年中過ごしやすいという印象です。自然も豊かで、自転車乗りには最高の環境なので、今年こそはツール・ド・東北に参加したいです。今年度も、公私ともに悔いが残らないよう頑張りたいと思います。

「ココロプレス」は宮城県の復興を応援するブログです。

宮城の復興状況や生活再建に懸命に取り組む人々の姿、全国から寄せられる力強く温かい応援の様子などを随時発信しています。

おかげさまで1900記事・180万アクセスを超えました。

宮城の復興情報を募集中です!

復旧復興のPRや支援の取り組みなど、伝えたい情報を、下記メールアドレスまでご連絡ください。

fukusuip@pref.miyagi.jp

必要事項: 1取材対象/2取材希望日/3取材場所/4御担当者氏名/5電話番号

※内容や日程によってはご希望にそえない場合もございますので、ご了承ください。



ココロプレス 検索

2016年2月23日 火曜日掲載

支援団体が手がける協同情報誌 ～ゆくゆく輪～ (石巻市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2016/02/blog-post_23.html

「この地域にとっての『生活の一部』として、復興期が終わった後も長く必要とされるような存在でありたい」。そんな思いから始まった地域情報誌「ゆくゆく輪」は、平成24年8月以来、毎月、石巻市釜・大街道地区の約6000世帯と災害公営住宅の方々に配られています。



2016年3月1日 火曜日掲載

災害が起こった時、大切な備えとは ～その1 (気仙沼市)

<http://kokoropress.blogspot.jp/2016/03/1.html>

「津波が来るから逃げろ!」と言われてましたが、私にはツナミがどんなものなのか、どうすればよいのか、分かりませんでした」と、気仙沼市在住のフィリピン人女性、軍司マリヴィエルさん。外国籍の人のための防災教育が必要だと訴えます。



2016年3月5日 土曜日掲載

復興の旗頭に。新坂元駅前に コンビニ第1号 OPEN! (山元町)

<http://kokoropress.blogspot.jp/2016/03/1open.html>

3つの新市街地を整備中の山元町。その1つ新坂元駅周辺地区では、初の商業施設として、住民待望のコンビニエンスストアが開店しました。近所の女性は、「近場にコンビニができてうれしいです」と、早速たくさん買い込んでいました。



2016年3月7日 月曜日掲載

「震災の記憶と命を守る学びを伝える」 語り部バス (南三陸町)

<http://kokoropress.blogspot.jp/2016/03/blog-post.html>

「私たちの使命は、震災の記憶を後世に語り継ぐこと」。南三陸町のホテル業者が震災の年の秋から毎朝運行している「震災語り部バス」は約1時間かけて町内の被災した場所を巡り、災害からどう命を守るのかを語り部の皆さん自身の被災の体験も含めて伝え続けています。



2016年3月16日 水曜日掲載

想いが詰まった作品展&復興鍋で みんな笑顔に! @ 燕沢復興公営住宅 (仙台市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2016/03/blog-post_16.html

燕沢復興公営住宅で、地域の皆さんとの交流会「みんなの作品展」が開催されました。主催した「燕沢市営住宅自治組織準備会」の渡辺由美さんは、「近所の小中学生の皆さんまで参加してくれて本当にありがたい」と、うれしそうに話していました。



2016年3月17日 木曜日掲載

あの日から5年～胸を張れるまちへ 復興する誓い新たに～ (気仙沼市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2016/03/5_17.html

3月11日、気仙沼市総合体育館で東日本大震災犠牲者の遺族をはじめとする約1000人が参列して東日本大震災追悼式が行われました。午後2時46分には、防災無線のサイレンを合図に、市内各所で犠牲者への黙祷が捧げられました。



～リニューアルのお知らせ～

いつも「みやぎ復興プレス」をご覧いただきありがとうございます。
「平成28年5月号」から、装いを新たに紙面をリニューアルします(タイトルも変更予定)。
復興の様子や復興に向けて取り組む方々の「今」の姿をより詳しくお伝えしていく予定ですので、
今後もお愛読のほど、よろしく願いたします。

県からのお知らせ

「復興 宮城の文化財」を公開しました

県では、東日本大震災で被災した文化財について、被災状況や修理修復の過程から現在の復興状況、復興に関わった人々のインタビューを紹介するホームページを公開しました。文化財の関連イベントや観光モデルコースの紹介なども併せて発信していますので、是非ご覧ください。



(修復後)



【例：旧有備館及び庭園の修復の様子（大崎市）】

☎ 県文化財保護課 ☎ 022-211-3682

URL : <http://www.thm.pref.miyagi.jp/fukkou/>

復興ニュース

「東北復興支援宮城県特産品フェア」 が開催されました

平成28年2月1日から2日にかけて、東京都の東京海上日動火災保険本社ビルなどで「東北復興支援宮城県特産品フェア」が開催されました。

このフェアは、宮城県と東京海上日動火災生命株式会社の共催によるもので、平成26年に開催されてから今年で3回目となります。東日本大震災の風化防止と風評被害の対策や、宮城県を代表する特産品の紹介を通じて、販路拡大を図ること目的としています。

当日は、宮城の地酒やずんだ団子、フカヒレ姿煮などの特産品が約50品目が並び、両日合わせて約1500名に会場いただきました。



➤ 復興 イベント情報

マリンパル女川おさかな市場しらす祭り(女川町)

春恒例のイベント「しらす祭り」。当日は、「しらすの釜揚げ」や「しらす干し」の販売、その他の生鮮魚類、水産加工品も大特売致します。市場特製しらす汁またはさんまのすり身汁を無料で振る舞います。

☎ 平成28年4月9日(土)～10日(日)

両日とも10:00～15:00

☎ マリンパル女川おさかな市場

☎ マリンパル女川事業協同組合

☎ 0225-54-4714

GW企画 縄文体験・体感WEEK(東松島市)

縄文時代の暮らしを体験・体感できるスペシャルウィーク。ゴールデンウィークならではの日替わり体験や貝塚ガイドツアーなど様々な縄文体験のほか、企画展「古代の塩」に合わせ、学芸員によるギャラリートークを開催します。

☎ 平成28年4月29日(金)～5月8日(日)

10:00～15:00

☎ 奥松島縄文村歴史資料館(東松島市宮戸字里81-18)

☎ 奥松島縄文村歴史資料館

☎ 0225-88-3927

凡例 ☎ 日時、期間 ☎ 場所、会場 ☎ 問い合わせ

春のマンガタン祭り(石巻市)

石巻のオリジナルヒーロー・シージェッター海斗ショーなどのステージイベントや青空の下で行うワークショップ、焼きそばや焼き鳥、くじ引きなど、お祭りには欠かせない屋台も出店します。

☎ 平成28年5月3日(火・祝)～5日(木・祝)

10:00から開催

☎ 石ノ森萬画館(中瀬公園)

☎ 石ノ森萬画館 ☎ 0225-96-5055

伊里前青空テント市(南三陸町)

伊里前福幸商店街では、ゴールデンウィークの3日間、豪華アーティストによるステージイベント、海産物の販売、その他大人からお子様まで楽しめる企画をご用意してお待ちしております。今年も来店していただいたお客様には、わかめ汁を無料で振る舞います。

☎ 平成28年5月3日(火・祝)～5日(木・祝)

☎ 伊里前福幸商店街

☎ 伊里前福幸商店街 ☎ 0226-36-2235

イベントの日程・内容などは変更される場合がありますので、
お出かけ前に、それぞれの問い合わせ先にご確認ください。

みやぎ復興プレス 第47号

【発行日】平成28年4月1日

【発行】宮城県震災復興本部(事務局:震災復興推進課)

電話:022-211-2443 e-mail:fukusuif1@pref.miyagi.jp

宮城県ホームページ「震災復興推進課」

URL <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukusui/>

「震災・復興」

URL <http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/>

